

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	コンピュータ概論ⅠA(コンピュータ概論)		担当者	伊禮 利一	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定(3級)に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	【第0章】シラバスの説明、サーティファイ情報処理検定3級について				1
	2	【イントロダクション】第1節コンピュータとは				2
	3	【1章】コンピュータの基礎知識				1
	4	【2章】コンピュータの数値表現(情報表現、基礎変換、補数、数値表現など)				8
	5	【3章】ハードウェア(プロセッサ、論理演算と論理回路、記憶装置など)				9
	6	【4章】システムの構要素(システムの評価指標、システムの構成、高信頼化技)				9
	7	【5章】ソフトウェア(ソフトウェアの分類とOS)				9
	8	【6章】マルチメディア				2
	9	【7章】AI(人工知能)				5
	10	【8章】アルゴリズムとデータ構造				4
	11	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)				12
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					62
教科書	コンピュータ概論 情報処理検定問題集(3級・2級)					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト20pt、検定対策模擬試験30pt、検定試験得点40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	コンピュータ概論ⅡA(マネジメントと情報化)		担当者	赤嶺 和人	科目必修区分	必修
授業概要	ストラテジおよびマネジメント分野の基本的かつ普遍的な知識の習得を目的とする。 企業における経営戦略と担当業務の関連性、システム開発のライフサイクル、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントおよびシステム監査などの知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定3級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・職業人としてIT(情報技術)の基本的な知識を活用し、上位者とのコミュニケーション、業務分析と解析およびシステム化の支援を行う事ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション:科目概要、目的、目標、シラバス、テキスト解説				2
	2	第1章 システム開発とマネジメント				22
	3	第2章 サービスマネジメントとシステム戦略				10
	4	第3章 企業と経営戦略				12
	5	サーティファイ情報処理技術者試験3級検定対策(試験時間・解説含む)				15
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数				61	
教科書	マネジメントと情報化 サーティファイ情報処理検定問題集(3級・2級)					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価方法	出席率・授業態度20pt、単元テスト20pt、期末試験30pt、検定試験30pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	前期
授業科目	コンピュータ概論ⅢA(システム開発技術)		担当者	渡具知 斉	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータにおける、データベース、ネットワーク、セキュリティに関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章 データベース				
	2	1節 データのモデル化				2
	3	2節 データベース設計				2
	4	3節 データの正規化				2
	5	4節 SQLの基本				2
	6	5節 SQLの応用				2
	7	6節 データベースの演算				2
	8	7節 データベース管理システム				2
	9	8節 データベース応用				2
	10	章末テスト データベース レポート形式				2
	11	第2章 ネットワーク				
	12	1節 ネットワーク方式				2
	13	2節 OSI基本参照モデル				2
	14	3節 TCP/IPプロトコル				2
	15	4節 IPアドレス				2
	16	5節 ネットワーク管理				2
	17	6節 TCP/IPアプリケーション				2
	18	7節 ネットワーク応用技術				2
	19	章末テスト ネットワーク レポート形式				2
	20	サーティファイ情報処理検定3級対策授業				10
	21	第3章 情報セキュリティ				
	22	1節 情報セキュリティ				2
	23	2節 システムへの攻撃手法				2
	24	3節 暗号化技術				2
	25	4節 認証技術				2
	26	5節 セキュリティ技術				2
	27	6節 セキュリティリスク				2
	28	7節 セキュリティ管理				2
	29	章末テスト ネットワーク レポート形式				2
	30					
	合計時間数				60	
教科書	システム開発と情報技術 情報処理検定問題集(3級・2級)					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト40pt、検定試験得点40pt、検定対策模擬試験10pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	プログラム設計ⅠA		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	プログラムによってコンピュータ処理の流れを記述できるように、基本的なデータ処理のためのアルゴリズムを学習する。					
到達目標	・流れ図の基本パターン、繰り返し処理、整数の計算、探索処理、整列処理を理解できる。 ・疑似言語に処理の流れを理解でき、トレースできる。 ・ファイル処理、文字列操作、ビット操作の処理が理解できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章 アルゴリズム入門 アルゴリズムとは データ型 領域の概念 基本構造				4
	2	第2章 流れ図の基本パターン 流れ図 連続型 選択型 反復型				4
	3	第4章 計算のアルゴリズム 合計平均 べき乗計算 乗算除算 最大最小抽出 練習問題				7
	4	第6章 配列操作 1次元配列 配列の異動 2次元配列 練習問題				8
	5	第3章 疑似言語の基本パターン 疑似言語とは 疑似言語の表記法				1
	6	疑似言語の言語部分 疑似言語の処理部分 練習問題				2
	7	第5章 手続・関数 手続・関数とは 変数のスコープ 引数と戻り値 練習問題				2
	8	第7章 探索のアルゴリズム 探索処理とは 線形探索 ブロック探索				6
	9	2分探索 ハッシュ探索 練習問題				6
	10	第8章 整列のアルゴリズム 整列処理とは 基本選択法 基本交換法 基本挿入法				9
	11	練習問題(サーティファイ情報処理2級2部_疑似言語・基本情報技術者試験_疑似言語)				9
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				58
	教科書	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造				
時間外学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度					
成績評価方法	出席評価点10pt、チェックテスト50pt、評価テスト20pt、授業態度20pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義、実習	講義時期	前期
授業科目	プログラミング言語 I A (Java)		担当者	赤嶺 達也	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法から、オブジェクト指向プログラミングを理解し、実習では練習問題を通して基礎的なプログラミングスキルを身に着ける。					
到達目標	・簡単なソースコードを読むことができる。 ・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。 ・サートファイ主催Java言語プログラミング能力認定試験2、3級が取得できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション(授業の概要説明(進捗・評価など)、実習環境の設定と動作確認)				2
	2	第0章 Javaとオブジェクト指向				1
	3	第1章 Javaの基礎-Javaとは				1
	4	第1章 Javaの基礎-プログラムの構造確認				1
	5	第1章 Javaの基礎-演算子を使った計算、演算子の優先順位				2
	6	第1章 Javaの基礎-変数を使ったプログラム				2
	7	第1章 Javaの基礎-標準入力				2
	8	第1章 Javaの基礎-型変換				2
	9	第2章 分岐-条件分岐とは				1
	10	第2章 分岐-if文、if文の分岐を増やす、if文のネスト				2
	11	第2章 分岐-複数の条件を組み合わせる				2
	12	第2章 分岐-switch文				2
	13	第3章 繰り返し-繰り返しとは				2
	14	第3章 繰り返し-for文、多重ループ				2
	15	第3章 繰り返し-while文、do-while文、繰り返しの応用				2
	16	第3章 繰り返し-配列				2
	17	第4章 クラスとメソッド-クラスとインスタンス				2
	18	第4章 クラスとメソッド-メソッドの定義				2
	19	第4章 クラスとメソッド-クラスのメンバ、staticメンバ				2
	20	第5章 カプセル化-カプセル化とは				1
	21	第6章 クラスの継承-継承とは				1
	22	第6章 クラスの継承-スーパークラスとサブクラス				1
	23	第6章 クラスの継承-ポリモフィズム				1
	24	第9章 クラスライブラリ(Stringクラス、Integerクラス、列挙型)				4
	25	検定対策_演習(基本文法を用いたプログラム作成、コマンドライン引数など)				2
	26	検定対策(Java言語3級対策、模擬試験の実施、解説)				19
	27	繰り返し-配列				
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					63
教科書	Java実践プログラミング、Javaプログラミング能力認定試験2、3級過去問題集					
時間外学習	授業内容の復習(検定対策時は、合格点に満たさない者は放課後講座を実施)					
成績評価方法	授業態度10pt、単元テスト20pt、試験得点(模擬、本試験含む)60pt、検定試験(合格有無)10pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	ITリテラシー実習	担当者	渡具知 斉	科目必修区分	必修
授業概要	・ビジネスにおいて必要不可欠なIT知識・パソコン操作を網羅し、実務に直結した知識・技術を習得する。				
到達目標	・ホームポジションでタイピングできる。 ・効率的なパソコン操作ができる(ショートカットキーの利用やデータ整理など) ・PowerPointの基本操作ができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第1章Windows11を使い始める			2
	2	第2章Windows11の基本操作を知る			2
	3	第3章文字入力の基本をマスターする			2
	4	第4章ファイルとフォルダーを自在に扱う			2
	5	第5章インターネットを快適に利用する			2
	6	第6章コミュニケーションツールを活用する			4
	7	第7章クラウドサービスを使いこなす			4
	8	第9章写真や動画を取り込んで編集する			4
	9	第10章さまざまな周辺機器を使用する			4
	10	第11章Windows11を使いこなすテクニック			4
	11	PowerPoint操作練習			6
	12	発表用スライド作成			8
	13	プレゼンテーションの実施			3
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	2025年度版やさしい教科書一冊に凝縮Windows11 Home/Pro対応				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題・演習問題				
成績評価方法	課題提出40pt、文章入力スピード20pt、プレゼン発表20pt、授業態度20pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員		備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義、演習	講義時期	前期
授業科目	ビジネスマナーⅠA		担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	必修
授業概要	第一印象の重要性を理解し、好感の持てる話し方を身につける					
到達目標	・笑顔や身だしなみなど第一印象の重要性を理解する ・立場の違いを考えた言葉遣いができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	ビジネスマナーとは(社会人として求められる資質、あいさつ・身だしなみの重要性)				4
	2	第一印象の重要性(立つ姿勢、お辞儀の仕方、語先後礼、表情訓練、発声練習)				3
	3	話の仕方、聞き方のポイントと注意点(クッション言葉、前向きな会話)				2
	4	言葉遣い(敬語の種類と使い分け)				2
	5	【練習問題】				
	6	尊敬語と謙譲語の混同				2
	7	二重敬語				1
	8	【確認テスト】				2
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	実践ビジネスマナー(1,200円＋税 ウイネット)					
時間外学習	なし					
成績評価方法	出席率(25%)・授業態度(25%)・提出物(25%)・期末テスト(25%)					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	キャリアデザインⅠ	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	社会人にとって基本的な素養を知り、基礎スキルの一部について学習・演習する				
到達目標	・就職活動に必要なことを学び、社会でも役立つことを理解する ・ワークを通し、就職活動に必要なスキルの基礎を習得できる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	1. 導入			1
	2	2. 良い習慣を身につける			1
	3	3. コミュニケーション力を高める			4
	4	4. 他者理解			4
	5	5. 自己理解			2
	6	6. 思いを言語化する			2
	7	7. スケジュール管理			1
	8	8. 情報の利活用			1
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	KBC学園 就職活動の進め方				
時間外学習					
成績評価方法	授業態度30pt、取り組み姿勢40p、提出物30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員		備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	志学Ⅰ		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	キャリア教育の実現の鍵は専門能力および発揮できる力(人間性)であることを知り、永久戦力を目指す上での自己のあり方を考える。					
到達目標	・相手を尊重した行動ができる ・相手の意見を傾聴し、受け入れることができる ・心を込めた挨拶ができる ・感謝の気持ちを相手に伝えることができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第1章:感謝				2
	2	第2章:感動				2
	3	第3章:思いやり・気くばり				2
	4	第4章:明朗				2
	5	第5章:挨拶				2
	6	第6章:素直				2
	7	第7章:プラス思考				2
	8	第8章:チャレンジ精神				3
	9	第9章:永久戦力				2
	10	志学Ⅰ まとめ、振り返り				2
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				21
教科書	KBC学園 志学Ⅰ・Ⅱ					
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する					
成績評価方法	出席率10ps、授業態度20pt、科目終了後の授業レポート70pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	コンピュータ概論 I B(コンピュータ概論)	担当者	伊禮 利一	科目必修区分	必修
授業概要	コンピュータのハード技術やソフト技術に関する知識を初歩から学び、ICT(IT)技術者として働くための専門知識を学習する。				
到達目標	・サーティファイ情報処理検定(2級1部)に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【2章】コンピュータの数値表現			5
	2	【4章】システムの構成要素			4
	3	【5章】ソフトウェア			4
	4	【8章】アルゴリズムとデータ構造			2
	5	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)			18
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				33
教科書	コンピュータ概論 情報処理検定問題集(2級)				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。				
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト20pt、検定対策模擬試験40pt、検定試験得点30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員		備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	コンピュータ概論ⅡB(マネジメントと情報化)		担当者	赤嶺 和人	科目必修区分	必修
授業概要	ストラテジおよびマネジメント分野の基本的かつ普遍的な知識の習得を目的とする。 企業における経営戦略と担当業務の関連性、システム開発のライフサイクル、プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントおよびシステム監査などの知識を学習する。					
到達目標	・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・職業人としてIT(情報技術)の基本的な知識を活用し、上位者とのコミュニケーション、業務分析と解析およびシステム化の支援を行う事ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第4章 OR・IE				7
	2	第5章 企業会計				3
	3	第6章 法務と標準化				6
	4	サーティファイ情報処理技術者試験2級1部検定対策(試験時間・解説含む)				12
	5	サーティファイ情報処理技術者試験2級2部検定対策(試験時間・解説含む)				12
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					40
教科書	マネジメントと情報化 サーティファイ情報処理検定問題集(3級・2級)					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。					
成績評価方法	出席率・授業態度20pt、単元テスト20pt、期末試験30pt、検定試験30pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	コンピュータ概論ⅢB(システム開発技術)	担当者	渡具知 斉	科目必修区分	必修
授業概要	・システム開発における開発プロセスや要件定義、設計に関する知識を学ぶ。 ・ソフトウェア開発における要件定義、設計構築、テスト、受入れ支援、保守に関する知識を学ぶ。				
到達目標	・サーティファイ情報処理検定2級に合格できる ・基本情報技術者試験(国家試験)の内容が理解できる ・目的に応じてコンピュータの活用ができる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	第4章 ユーザーインターフェース			
	2	1節 ユーザーインターフェース			3
	3	第5章 システム開発技術			
	4	1節 システム開発とは			3
	5	2節 システム開発のプロセス			3
	6	3節 システム要件定義			3
	7	4節 システム設計			3
	8	5節 ソフトウェア要件定義			3
	9	6節 ソフトウェア設計			3
	10	7節 ソフトウェア構築			3
	11	8節 統合・テスト			3
	12	9節 導入・受入れ支援と保守			3
	13	10節 ソフトウェア開発手法			3
	14	章末テスト ユーザインターフェース・システム開発技術			3
	15	サーティファイ情報処理検定2級1部対策授業			10
	16	サーティファイ情報処理検定2級2部対策授業			5
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			51
教科書	システム開発と情報技術 情報処理検定問題集(2級)、情報処理技術者試験科目A/B模擬試験問題集				
時間外学習	授業時間内で終わらなかった点をClassroomにて質疑応用。 実習課題や演習問題集にて自主学習。				
成績評価方法	授業態度10pt、章テスト40pt、検定試験得点40pt、検定対策模擬試験10pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	プログラム設計ⅠB		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	必修
授業概要	プログラムによってコンピュータ処理の流れを記述できるように、基本的なデータ処理のためのアルゴリズムを学習する。					
到達目標	・流れ図の基本パターン、繰り返し処理、整数の計算、探索処理、整列処理を理解できる。 ・疑似言語に処理の流れを理解でき、トレースできる。 ・ファイル処理、文字列操作、ビット操作の処理が理解できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第8章 整列のアルゴリズム その他の整列方法 練習問題				6
	2	第9章 オブジェクト指向プログラミングの基本パターン オブジェクト指向とは				1
	3	オブジェクトとクラス オーバードーズ 継承 練習問題				2
	4	第10章 データ構造 データ構造の概要 配列 リスト				12
	5	スタックとキュー 木構造 練習問題				7
	6	第11章 実践アルゴリズム 基数変換 経路選択				2
	7	文字列探索 順位付け				2
	8	文字列の比較 逆ポーランド記法				2
	9	サーティファイ情報処理2級2部検定対策				16
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				50
教科書	情報処理試験合格へのパスポート アルゴリズムとデータ構造					
時間外学習	復習:勉強した内容をその日のうちに再度復習 ※30分程度					
成績評価方法	出席評価点10pt、検定取得40pt、評価テスト30pt、授業態度20pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	プログラミング言語 I B (Java)		担当者	赤嶺 達也	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法から、オブジェクト指向プログラミングを理解し、実習では練習問題を通して基礎的なプログラミングスキルを身に着ける。					
到達目標	・簡単なソースコードを読むことができる。 ・基本的なプログラミングスキルが身につくので、簡易プログラムが作成できる。 ・サーティファイ主催Java言語プログラミング能力認定試験2、3級が取得できる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	第4章 クラスとメソッド(前期おさらい(メソッド、メンバの復習))				1
	2	第4章 クラスとメソッド(オーバーロード、ジェネリクス)				2
	3	第5章 カプセル化(カプセル化、アクセス修飾子)				2
	4	第5章 カプセル化(コンストラクタ)				1
	5	第5章 カプセル化(パッケージ)				2
	6	第6章 クラスの継承(継承、スーパークラスとサブクラス)				2
	7	第6章 クラスの継承(オーバーライド、抽象クラスと抽象メソッド)				2
	8	第6章 クラスの継承(サブクラスからスーパークラスへのアクセス、継承と修飾子)				2
	9	第6章 クラスの継承(ポリモフィズム)				1
	10	第7章 クラス応用(インタフェース、定義と継承、クラスの継承とインターフェースの実装)				4
	11	第7章 クラス応用(内部クラス、ローカルクラスと無名クラス、ラムダ式)				3
	12	第8章 例外クラス(エラーとは、try-catch文、finally文)				3
	13	第8章 例外クラス(throw文、throwsキーワード)				2
	14	第9章 クラスライブラリ(文字列、日付、正規表現、数値操作、列挙型)				4
	15	第10章 コレクションフレームワーク(コレクションフレームワーク)				1
	16	第10章 コレクションフレームワーク(List)				2
	17	第10章 コレクションフレームワーク(Set)				2
	18	第10章 コレクションフレームワーク(Map)				2
	19	第10章 コレクションフレームワーク(コレクションとラムダ式、API)				2
	20	第11章 ファイル操作(ファイル操作の基本、入出力とストリーム、ファイルの読み書き)				2
	21	第11章 ファイル操作(効率化、文字コード指定、区切り文字ごとの読み込み)				2
	22	第12章 マルチスレッド(マルチスレッド、Threadクラス、Runnableインタフェース)				2
	23	検定対策(Java言語2級対策、模擬試験の実施、解説)				12
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				58
	教科書	Java実践プログラミング、Javaプログラミング能力認定試験2、3級過去問題集				
時間外学習	授業内容の復習(検定対策時は、合格点に満たさない者は放課後講座を実施)					
成績評価方法	授業態度10pt、単元テスト20pt、試験得点(模擬、本試験含む)60pt、検定試験(合格有無)10pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	セキュリティ演習		担当者	宇地原里香、中村響	科目必修区分	必修
授業概要	下期の国家試験「情報セキュリティマネジメント試験」合格に向けて試験対策を実施する。 情報セキュリティマネジメント試験対策としては、模擬問題の演習を元に各分野の専門知識・技術を身につける。 また、対策問題だけでなく、セキュリティに関する動画視聴を行い、グループワークによる意識向上を図るとともに、セキュリティマネジメント試験に関連知識についても学習する。					
到達目標	・グループワークを通してセキュリティに関する意識向上および知識定着。 ・情報セキュリティマネジメント試験の合格。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション(授業目的・カリキュラム説明など)				1
	2	講義:1章 サイバー攻撃手法				4
	3	講義:2章 暗号と認証				5
	4	講義:3章 情報セキュリティ管理				3
	5	講義:4章 情報セキュリティ対策				2
	6	講義:5章 情報セキュリティ製品				3
	7	講義:6章 セキュリティ関連法規				2
	8	講義:7章 テクノロジ系				2
	9	講義:8章 マネジメント系				2
	10	講義:9章 ストラテジ系				2
	11	演習:動画視聴およびグループワーク①				1
	12	演習:情報セキュリティマネジメント模擬試験(科目A)①				2
	13	講義:情報セキュリティマネジメント模擬試験解説(科目A)①				5
	14	演習:動画視聴およびグループワーク②				2
	15	演習:情報セキュリティマネジメント模擬試験(科目B)①				2
	16	講義:情報セキュリティマネジメント模擬試験解説(科目B)①				5
	17	演習:動画視聴およびグループワーク③				1
	18	演習:情報セキュリティマネジメント模擬試験②				3
	19	講義:情報セキュリティマネジメント模擬試験解説(科目A)②				4
	20	講義:情報セキュリティマネジメント模擬試験解説(科目B)②				4
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				55
教科書	出るところだけ！情報セキュリティマネジメント テキスト&問題集 2025年版、IPAサイト					
時間外学習	試験学習サイトの使用					
成績評価方法	授業態度20pt、課題提出状況40pt、期末テスト40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)1年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	Web開発実習 I (HTML)	担当者	與儀 和智	科目必修区分	必修
授業概要	Webサイトを作成する際に必修スキルであるHTML5・CSS3の基礎的な知識と技術を学習し、簡単なWebサイトを作成する。				
到達目標	Webのしくみを理解し、HTML5をマークアップすることができる。 また、CSSを用いてHTMLの構造を維持しつつ、Webページのデザインやレイアウトを表現することができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	【Webサイト作成の事前準備】			2
	2	【HTMLの基本】			5
	3	【CSSの基本】			5
	4	【Webサイトの作成】			5
	5	【レスポンス対応】			5
	6	【Webサイトの集客】			5
	7	【Webサイトの公開】			5
	8	【Webクリエイター能力認定試験 スタンダード受験に向けて】			20
	9	【Bootstrap5の特徴と導入】			5
	10	【グリッドシステムを利用したページレイアウト】			5
	11	【コンテンツの書式設定】			5
	12	【Bootstrapを利用したWeb制作】 制作課題			5
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	HTML&CSSの教科書、Webクリエイター能力認定試験スタンダード問題集、Bootstrap4ファーストガイド				
時間外 学習	時間内に完成できなかった課題の実装・提出				
	検定合格基準に達していない学生への補講対応				
成績評価 方法	授業態度20pt、課題提出30pt、出席率20pt、検定取得状況30pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員		備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	システム構築技術 I (LinuC 101)	担当者	渡具知 斉・大城 政邦	科目必修区分	必修
授業概要	サーバ用OSとして広く利用されている Linux を講義と実習を通して理解する。実習環境を通じて、Linux の基本構成やコマンドを学習し操作できるようになる。LinuC 101 試験の合格を目標とする。				
到達目標	1. Linux 環境のインストールができる 2. Linux コマンドを理解し操作できる 3. LinuC 101 試験に合格する				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション:学習の進め方、LinuC レベル1について			1
	2	Linux とは、コンピュータの基本			4
	3	環境構築(仮想環境)			2
	4	1章:Linux のインストールと仮想マシン・コンテナの利用			12
	5	2章:ファイルとディレクトリの操作と管理			20
	6	3章:GNU と Unix のコマンド			10
	7	4章:リポジトリとパッケージ管理			10
	8	5章:ハードウェア、ディスク、パーティション、ファイルシステム			10
	9	試験対策(問題集利用)			29
	10	LinuC 101 本試験			4
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				102
教科書	・Linux教科書 図解でバツとわかる LPIC/LinuC 翔泳社 ・最短突破 LinuCレベル1 バージョン10.0 合格教本[101試験, 102試験対応] 技術評論社 ・Linux教科書 LinuC レベル1 スピードマスター問題集 Version10.0対応 翔泳社				
時間外学習	実習環境を用いた復習、オンライン学習 Ping-t を用いた試験対策				
成績評価方法	授業態度30pt、課題提出40pt、本試験結果30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	プログラミング言語Ⅱ(OCJ-P)	担当者	赤嶺 達也	科目必修区分	必修
授業概要	Java言語の基本文法・オブジェクト指向プログラミング(クラス・インターフェース)を理解し、Oracle認定Java SE Bronze 試験合格に向けて演習を含めた学習を行う。				
到達目標	・Java言語の基本文法について説明ができる。 ・オブジェクト指向プログラミングについて説明ができる。 ・Java言語の上級者の指導のもとで開発作業を行うことができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	シラバス説明・Java開発環境の確認			1
	2	【教科書】第1章 Java言語の プログラムの作成			3
	3	【教科書】第2章 データの宣言と使用			5
	4	【教科書】第3章 演算子と条件文(分岐文)			5
	5	【教科書】第4章 繰り返し文と繰り返し制御文			5
	6	【教科書】第5章 オブジェクト指向コンセプト			2
	7	【教科書】第6章 クラス定義とオブジェクトの生成・使用			5
	8	【教科書】第7章 継承			4
	9	【教科書】第8章 ポリモフィズムとパッケージ			4
	10	【問題集】第1章 Java言語の プログラムの流れ			2
	11	【問題集】第2章 データ宣言と使用			3
	12	【問題集】第3章 演算子と分岐文			3
	13	【問題集】第4章 ループ文			3
	14	【問題集】第5章 オブジェクト指向の概念			2
	15	【問題集】第6章 クラス定義とオブジェクトの使用			3
	16	【問題集】第7章 継承とポリモーフィズム			3
	17	OCJP 模擬試験・解説① Bronze 模擬試験			5
	18	OCJP 模擬試験・解説② Bronze 模擬試験			4
	19	OCJP 模擬試験・解説③ Bronze 模擬試験			5
	20	OCJP 模擬試験・解説④ Bronze 模擬試験			5
	21	OCJP 本番試験(2025年8月5日火曜日、8月6日水曜日予定)			5
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				77
	教科書	【教科書】オラクル認定資格教科書 Javaプログラマ Bronze SE (試験番号1Z0-818) 【問題集】徹底攻略Java SE Bronze問題集[1Z0-818]			
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を推奨				
成績評価方法	授業態度20pt、中間試験20pt、模擬試験4回30pt、本番試験(30pt) 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	開発実習 I (基礎)		担当者	新城 寛之	科目必修区分	必修
授業概要	ウォーターフォール型のシステム開発の流れについて学習する。 詳細設計～単体テストに重きを置いた開発演習を通して、実際の開発現場で行われている下流工程の進め方を学習する。					
到達目標	1. ウォーターフォール型のシステム開発における各工程の目的、工程間の繋がりを理解する。 2. Webアプリケーションの仕組み、機能間の繋がりを理解する。 3. 統合開発環境を使ったコーディング、デバッグの方法を理解する。 4. 単体テストの目的、手法を理解し、作成した機能の品質を担保できるようになる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	授業概要と授業実施前の準備				1
	2	システム開発概要				2
	3	要件定義				3
	4	基本設計				2
	5	Webアプリケーション開発基礎				15
	6	詳細設計				2
	7	詳細設計演習				12
	8	プログラム開発(概要説明、開発環境セットアップ)				9
	9	プログラム開発(Git)				6
	10	プログラム開発演習				23
	11	単体テスト(概要説明、品質管理)				2
	12	単体テストの手法				2
	13	単体テスト演習				10
	14	後続工程概要				5
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				93
教科書	自作プリント、スライド					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった実習課題や演習問題の作成を行う					
成績評価方法	授業態度20pt、演習課題の平均得点80pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	実務家		備考			
実務経験紹介		株式会社国際システム勤務				

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	Web開発実習Ⅱ(PHP)	担当者	今頭 翔太	科目必修区分	必修
授業概要	・PHPを用いたWebアプリケーション開発を行いながら、Web関連技術の知識を深める。				
到達目標	1,PHPの基本を習得し、コードを読み解くことができる。 2,PHP・MySQLを連携した、簡単なWebアプリケーションの作成ができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			0.5
	2	①1章、心の準備編			0.5
	3	①2章、パソコン設定編			2
	4	①3章、プログラミング編			9
	5	①4章、データベース編			11
	6	②1章、いろいろ準備編			1
	7	②2章、スタッフ管理システムの作成			8
	8	②3章、商品管理システムの作成			7
	9	②4章、スタッフ専用ログイン認証ページの作成			4
	10	②5章、スキルアップ			4
	11	②6章、ショッピングカート機能の作成			12
	12	②7章、注文機能の作成			8
	13	②8章、Excelで注文管理			3
	14	②9章、会員機能の作成			5
	15	作品制作			16
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			91
教科書	①いきなりはじめるPHP入門 ②気づけばプロ並みPHP改訂版				
時間外学習	・オンライン学習教材(Paizaラーニング)				
成績評価方法	授業態度:20pt、実習課題:65pt、作品提出:15pt				
担当詳細	教員		備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	選択実習 I A(セキュリティ実習)		担当者	大城 全揮	科目必修区分	選択
授業概要	プラットフォーム・Webアプリケーションの脆弱性を理解し、ツールを用いて対象の脆弱性を検出できる脆弱性診断士の育成を目的とする。					
到達目標	・プラットフォームの脆弱性とその対策方法を説明することが出来る ・Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することが出来る ・脆弱性診断ツールの基本操作を理解し、脆弱性を検出することが出来る					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	ガイダンス、脆弱性ガイドライン説明、各種セキュリティ資格紹介				5
	2	HTTP/ネットワーク基礎				5
	3	WEBアプリケーション脆弱性説明とXSS実習				5
	4	SQLインジェクション実習				5
	5	CSRF実習				5
	6	その他脆弱性実習				5
	7	脆弱性診断と結果報告				5
	8	ここまでの振り返り（第3回から第6回までの実習のおさらい）				5
	9	Web診断実習 (BURP SUITE)				5
	10	Web診断実習 (OWASP ZAP)				5
	11	診断報告書の作成と法令				5
	12	課題提出と評価				5
	13	プラットフォーム診断1				5
	14	プラットフォーム診断2				5
	15	課題提出と評価				5
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	Webセキュリティ担当者のための脆弱性診断スタートガイド 第2版 上野宣					
時間外学習	オンデマンド教材 (Udemy)					
成績評価方法	授業態度 50pt、課題提出 50pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅠA(レゴロボ実習)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	ScratchやC言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通し、プログラムの組み方、センサーを含むハードウェアのプログラミングを理解する。開発環境をLinuxとし、Linuxの操作にも慣れることとする。				
到達目標	・ScratchとC言語でプログラムを書けるようになる ・Linuxの基本的なファイル操作ができるようになる ・各種センサーの特徴を理解し、それらを活用したEV3(レゴロボ)を設計通りにプログラミングできるようになる ・チームでの作業を通じてチームワークを身につける				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			5
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			5
	3	C言語基礎(プログラム作成)			10
	4	EV3組立て、Scratch基礎			5
	5	EV3プログラミング(Scratch)			5
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用			10
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース			10
	8	C言語環境構築、EV3プログラミング(C言語)			5
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用、ライントレース			10
	10	EV3プログラミング(C言語)、追加課題			5
	11	部品の点検、振り返り			5
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外学習	課題の作成と提出				
成績評価方法	授業態度40pt、課題提出60pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	選択実習 I A(Webシステム開発)		担当者	今頭 翔太	前期	選択
授業概要	・情報スペシャリスト科で学ぶ、HTML・CSS・PHP(WEB開発技術)を連携し、サイト構築の体験をしながら学習をしていく。 ・PHPのフレームワーク「Laravel」、CSSのフレームワーク「Bootstrap」を使いながら本格的なwebサイト作成にチャレンジする。 ・基礎勉強から作品製作までをチームにて行う。					
到達目標	・仮想環境のDockerを利用した開発できるようになる。 ・PHPやCSSのフレームワークを利用したwebサイトの作成ができるようになる。 ・開発したwebサイトをポートフォリオとして提出できるようになる。 ・チームでの開発ができるようになる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション・自己紹介・チーム決め・授業の進め方				3
	2	HTML・CSS基礎 ※Bootstrapも使用				5
	3	PHP,MySQL基礎 dockerを利用した開発				14
	4	PHPフレームワーク「Laravel」の基礎				13
	5	作品製作・ポートフォリオの作成				40
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	24					
	25					
	26					
		合計時間数				75
教科書	・オンデマンド動画教材「Udemy」					
	・オリジナル資料					
時間外学習	・授業内では使用しない「Udemy」教材					
成績評価方法	出席率:15pt・授業態度:15pt、課題提出:30pt、作品提出:40pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義・実技	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅠA(ヒューマンスキル)		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	選択
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。					
到達目標	・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	グループディスカッション				7
	2	グループディスカッションワーク				18
	3	ディベート				4
	4	コミュニケーション力強化				9
	5	社会人としての基礎知識(政治・経済など)				5
	6	リーダー育成				11
	7	プレゼン力強化				6
	8	グループディスカッション(最終)				15
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	合計時間数				75	
教科書	無し					
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する					
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義・演習	講義時期	前期	
授業科目	選択実習ⅠA(サーバ環境構築(実践))		担当者	山川　こゆき	科目必修区分	選択	
授業概要	情報スペシャリスト科で学ぶ科目をサーバ構築および運用を通して体系的実践から習得する。社会で利用されているサーバ(さくらインターネットもしくはAWS EC2)にフロントエンドからバックエンドで活用されているサービスを導入し、サーバ構築の基礎を学ぶ。オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を体得。また、構築手順、エラー対応、バージョンなど詳細確認、レポート提出により問題解決スキルの成長を促し、相互レビューで自らの強み発見および改善を促す。						
到達目標	・LinuxOS Webサーバ構築手順書通り、構築できる ・Linuxサーバ(さくらインターネットVPSもしくはAWS EC2)を操作できる ・仮想マシンVirtualBoxのインストール、設定ができる ・LinuxOSのインストール、設定ができる ・WebサービスApacheのインストールができる ・データベースMySQLのインストール、設定ができる ・プログラミング言語PHPのインストール、設定ができる ・CMS WordPressのインストール、設定ができる ・Apache(Webサーバ)、MySQL(データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS) サービス間の連携、管理、運用ができる ・Webサーバ構築の基礎的なネットワーク、セキュリティの設定、変更ができる ・ChatGPTを活用したレポーティング、プレゼンテーションができる						
授業計画	内　　　　容					授業時間数	
	講義						
	1	オリエンテーション・環境設定:自己紹介、授業の進め方、サーバ概要				5	
	2	仮想マシンとは:仮想化環境概要、仮想マシンのインストール・作成・設定				5	
	3	Linuxとは:OS概要、OSのインストール・作成・設定・ネットワーク接続・ログイン				5	
	4	調査1:ディストリビューションの検証・比較・選定				5	
	5	フロントエンド構築:構築手順実演、個人演習、手順書作成(指定OS編)				5	
	6	フロントエンド構築:構築手順実演、個人演習、手順書作成(選定OS編)				5	
	7	調査2:サーバ、ネットワーク、各種サービス、セキュリティ、関連情報				5	
	8	バックエンド構築:構築手順実演、個人演習、本番環境設定				5	
	9	ソーシャル・マーケティングとは:企業のCSRとマーケティングの概要				5	
	10	本番環境構築1:企画、要件定義				5	
	11	本番環境構築2:基本設計				5	
	12	本番環境構築3:詳細設計・プログラミング				5	
	13	本番環境構築4:結合テスト・システムテスト・運用テスト				5	
	14	発表1:プレゼンテーション				5	
	15	発表2:プレゼンテーション				5	
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		合計時間数					75
	教科書	オリジナル資料					
時間外学習	さくらインターネット・サイト「さくらのナレッジ:さくらのVPS講座」(参考資料) アマゾン・ウェブ・サービス EC2 ラボ						
成績評価方法	レポート 30pt、スピーチ 30pt、期末プレゼンテーション 20pt、成果物 20pt						
担当詳細	教員	備考					
実務経験紹介							

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習 I A(チャレンジコース)	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する				
到達目標	・各自で設定した目標を達成するための手段やスケジュールリングを行うことができる ・問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングができるようになる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	目標の設定および進捗方法の確認			74
	3	目標を進める			
	4	進捗率の確認			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
		合計時間数			
教科書					
時間外 学習	各自目標を進める				
成績評価 方法	授業態度60pt、課題達成率40pt				
担当詳細	教員		備考		
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	データベース入門 I (OSS-DB)	担当者	今頭 翔太	科目必修区分	必修
授業概要	・PostgreSQLを使って、リレーショナルデータベース(RDBMS)の運用管理やRDBMSのデータを定義したり、操作するための標準言語であるSQLの書き方を学ぶ。 ・基本的な運用管理コマンドやバックアップ方法、データ操作文やデータ定義文、トランザクション管理の命令を実習を通じて、実践的な学習を行う。				
到達目標	1. PostgreSQLのコマンドとSQLを使えるようになる 2. OSS-DB Silver の問題が解けるようになる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	データベースの環境構築			2
	3	SQLによるデータベースの操作『基礎編』			3
	4	SQLによるデータベースの操作『応用編』			6
	5	データ型			1
	6	データベース定義の応用			1
	7	1章・オープンソースデータベースの一般的特徴			1
	8	2章・データベースの基礎知識			3
	9	3章・インストール			3
	10	4章・標準付属ツール			5
	11	5章・設定ファイル			6
	12	6章・バックアップとリストア			6
	13	7章・基本的な運用管理			4
	14	8章・SQLとオブジェクト			9
	15	9章・組込関数と演算子			3
	16	10章・トランザクション			3
	17	試験対策			22
	18	本試験			4
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			83
教科書	・オープンソースデータベース標準教科書・OSS教科書OSS-DB Silver・Web問題集Ping-t				
時間外学習	オンライン教材(Paizaラーニング)による自主学習環境を提供 Web問題集Ping-tを用いた試験対策				
成績評価方法	授業態度15pt、実習課題40pt、確認テスト15pt、本試験:30pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	開発実習Ⅱ(応用)		担当者	山下 修	科目必修区分	選択
授業概要	Spring Frameworkを利用したWebアプリケーション開発を学習する					
到達目標	1. Springを利用して簡単なWebアプリケーション作成できるようになる。 2. Springで採用されている概念を理解する。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	Webシステム構成とSpring開発環境				6
	2	開発環境構築				8
	3	(step00) Webアプリケーションを開発するベースとなるspring frameworkを使って、空っぽのアプリケーションを動かす。				8
	4	(step01) Webリクエストを受け取り、Webレスポンスを返すアプリケーションを動かす。MVCのControllerを導入する。(Web API、Rest)				8
	5	(step02) MVCのViewを導入する。				8
	6	(step03) MVCのModelを導入する。				6
	7	(step04) Webページからタスクを入力し、リストに追加できるようにする。(入力データの受け取り方)				6
	8	(step05) Webページからタスクを修正(更新)できるようにする。				6
	9	(step06) Webページからタスクを削除できるようにする。				6
	10	(step07) 例外ハンドラを導入する。(エラーページ)				6
	11	(step08) JDBCテンプレートを導入する。(データベース準備)				6
	12	(step09) Repositoryをメモリ版からPostgreSQL版へ変更する。(データベースを使ったタスク管理)				6
	13	(step10) 表示をリッチにするためにCSSを適用する。				6
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				86
教科書	Spring Boot3プログラミング入門(秀和システム)、テスト(独自)、サンプルプログラムと手順書(独自)					
時間外学習	時間中に動かすことができなかったプログラムを動かすところまで作成する 時間中に理解しきれなかったことをネットで調べて理解する					
成績評価方法	授業出席5pt、参加状況25pt、課題提出30pt、テスト結果40pt 学校基準により4段階評価する					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	ネットワーク入門 I (ITN)		担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	IPアドレッシングやイーサネットの基礎を含む、インターネットや最新のコンピューターネットワークを介してユーザー、デバイス、アプリケーション、データを接続するためのアーキテクチャ、モデル、プロトコル、ネットワークを学習する。					
到達目標	・ルーティング、スイッチング、アプリケーションプロトコルについての説明が出来る。 ・ルーターの基本設定が出来る。 ・スイッチの基本設定が出来る。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	モジュール1:今日のネットワーク				4
	2	モジュール2:基本的なスイッチとエンドデバイスの設定				4
	3	モジュール3:プロトコルとモデル				4
	4	モジュール4:物理層				4
	5	モジュール5:記数法				4
	6	モジュール6:データリンク層				4
	7	モジュール7:イーサネットスイッチング				4
	8	モジュール8:ネットワーク層				4
	9	モジュール9:アドレス解決				4
	10	モジュール10:基本的なルータの設定				6
	11	モジュール11:IPv4アドレッシング				6
	12	モジュール12:IPv6アドレッシング				5
	13	モジュール13:ICMP				5
	14	モジュール14:トランスポート層				5
	15	モジュール15:アプリケーション層				5
	16	モジュール16:ネットワークセキュリティの基礎				6
	17	モジュール17:小規模ネットワークの構築				6
	18	期末試験				5
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				85
教科書	Webテキスト(Cisco academy 提供)					
時間外学習	パケットトレーサー(実習環境)を使用したラボ実習					
成績評価方法	章末試験20pt、期末試験(筆記)40pt、期末試験(実技)40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国泉電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)2年次		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	Web開発実習Ⅲ(JS&Laravel)		担当者	赤嶺 達也・喜友名航	科目必修区分	必修
授業概要	動画教材(Udemy)を利用してオンデマンド形式の授業を体験。 フレームワークを利用した簡単なWebアプリ構築の実習を行う。					
到達目標	1. フレームワークを使ったプログラミングが書けるようになる 2. Webアプリケーション制作を通してMVCモデルを理解する					
授業計画	内 容					授業時間数
1	導入(授業の進め方、評価方法)、Udemyアカウント登録、ブックマーク、環境確認と必要ツールのインストール作業					2
2	Laravel入門(動画時間:19分) 131:Laravelのインストール 132:Laravelの初期設定 133:Laravelキャッシュのクリア方法 134:Laravelデータベース設定 135:Laravelデータベース接続確認 136:Laravelの概要 137:Laravelルート、ビュー 138:Laravel Artisanコマンド 課題1(Laravelのインストールを行い、画面に「Hello!!」を表示)					4
3	Laravel入門(動画時間:23分) 139:Laravelモデル 140:Laravelマイグレーション 141:Laravel tinker 142:Laravelコントローラ 143,144:Laravel MVCモデルの記述方法 145:ヘルパ関数 146:コレクション型 課題2(動画:144の演習を実施)					4
4	Laravel入門(動画時間:69分) 147:クエリビルダ 148:ファサード 149:起動処理DIとサービスコンテナ 150:ブレード(Blade) 151:フロントエンド 152,153:追加動画 154:Laravel-uiと認証 155,156:追加動画 課題3(動画:154の演習を実施)					2
5	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:19分) 157:概要モデル・マイグレーション 158:マイグレーション・追加とロールバック 159:RestFulなコントローラ 課題4(演習実施後、提出)					3
6	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:26分) 160:ルーティング(グループ・認証) 161,162:動画視聴 課題5(演習実施後、提出)					4
7	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:6分) 163:Create新規登録 課題6(演習実施後、提出)					2
8	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:8分) 164:StoreとRequest保存の前に 課題7(演習実施後、提出)					2
9	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:4分) 165:Store保存 課題8(演習実施後、提出)					2
10	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:11分) 166:DBに保存されているデータの取得 課題9(演習実施後、提出)					2
11	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:10分) 167:show表示画面 課題10(演習実施後、提出)					2
12	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:8分) 168:edit編集画面 課題11(演習実施後、提出)					2
13	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:3分) 169:update更新画面 課題12(演習実施後、提出)					2
14	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:6分) 170:destroy削除機能 課題13(演習実施後、提出)					2
15	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:6分) 171:サービスへの切り離し(ファットコントローラ防止) 課題14(演習実施後、提出)					2
16	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:11分) 172:バリデーション(フォームリクエスト) 課題15(演習実施後、提出)					2
17	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:8分) 173:ダミーデータ(シーダー) 課題16(演習実施後、提出)					2
18	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:11分) 174:ダミーデータ(Factory&Faker) 課題17(演習実施後、提出)					2
19	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:8分) 175:ページネーション 課題18(演習実施後、提出)					2
20	Laravel簡易Webアプリ(CRUD/RESTful)(動画時間:11分) 176:検索フォーム 課題19(演習実施後、提出)					2
21	アプリケーション作成1 PaizaのLaravel入門を視聴しながら、アプリケーション作成 演習実施後、提出					12
22	アプリケーション作成2 PaizaのLaravel入門を視聴しながら、アプリケーション作成 演習実施後、提出					10
	合計時間数					69
教科書	動画教材Udemy「PHPからLaravelまでサーバーサイドをとことんやってみよう」					
時間外 学習	オンライン学習教材(Paizaラーニング)					
成績評価 方法	授業態度20pt、実習課題提出点(提出期限内pt含む)80pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	選択実習 I B(セキュリティ実習)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	選択
授業概要	プラットフォーム・Webアプリケーションの脆弱性を理解し、ツールを用いて対象の脆弱性を検出できる脆弱性診断士の育成を目的とする。				
到達目標	・プラットフォームの脆弱性とその対策方法を説明することが出来る ・Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することが出来る ・脆弱性診断ツールの基本操作を理解し、脆弱性を検出することが出来る				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス、脆弱性ガイドライン説明、各種セキュリティ資格紹介			5
	2	HTTP/ネットワーク基礎			5
	3	WEBアプリケーション脆弱性説明とXSS実習			5
	4	SQLインジェクション実習			5
	5	CSRF実習			5
	6	その他脆弱性実習			5
	7	脆弱性診断と結果報告			5
	8	ここまでの振り返り（第3回から第6回までの実習のおさらい）			5
	9	Web診断実習 (BURP SUITE)			5
	10	Web診断実習 (OWASP ZAP)			5
	11	診断報告書の作成と法令			5
	12	課題提出と評価			5
	13	プラットフォーム診断1			5
	14	プラットフォーム診断2			5
	15	課題提出と評価			5
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			75
教科書	Webセキュリティ担当者のための脆弱性診断スタートガイド 第2版 上野宣				
時間外学習	オンデマンド教材 (Udemy)				
成績評価方法	授業態度 50pt、課題提出 50pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅠB(レゴロボ実習)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	ScratchやC言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通し、プログラムの組み方、センサーを含むハードウェアのプログラミングを理解する。開発環境をLinuxとし、Linuxの操作にも慣れることとする。				
到達目標	・ScratchとC言語でプログラムを書けるようになる ・Linuxの基本的なファイル操作ができるようになる ・各種センサーの特徴を理解し、それらを活用したEV3(レゴロボ)を設計通りにプログラミングできるようになる ・チームでの作業を通じてチームワークを身につける				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			5
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			5
	3	C言語基礎(プログラム作成)			10
	4	EV3組立て、Scratch基礎			5
	5	EV3プログラミング(Scratch)			5
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用			10
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース			10
	8	C言語環境構築、EV3プログラミング(C言語)			5
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用、ライントレース			10
	10	EV3プログラミング(C言語)、追加課題			5
	11	部品の点検、振り返り			5
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外学習	課題の作成と提出				
成績評価方法	授業態度40pt、課題提出60pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅡB(web開発)		担当者	今頭 翔太	後期	選択
授業概要	・情報スペシャリスト科で学ぶ、HTML・CSS・PHP(WEB開発技術)を連携し、サイト構築の体験をしながら学習をしていく。 ・PHPのフレームワーク「Laravel」、CSSのフレームワーク「Bootstrap」を使いながら本格的なwebサイト作成にチャレンジする。 ・基礎勉強から作品製作までをチームにて行う。					
到達目標	・仮想環境のDockerを利用した開発ができるようになる。 ・PHPやCSSのフレームワークを利用したwebサイトの作成ができるようになる。 ・開発したwebサイトをポートフォリオとして提出できるようになる。 ・チームでの開発ができるようになる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション・自己紹介・チーム決め・授業の進め方				3
	2	HTML・CSS基礎 ※Bootstrapも使用				5
	3	PHP,MySQL基礎 dockerを利用した開発				14
	4	PHPフレームワーク「Laravel」の基礎				13
	5	作品製作・ポートフォリオの作成				40
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				75
教科書	・オンデマンド動画教材「Udemy」 ・オリジナル資料					
時間外学習	・授業内では使用しない「Udemy」教材					
成績評価方法	出席率:15pt・授業態度:15pt、課題提出:30pt、作品提出:40pt					
担当詳細	教員		備考			

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅠB(ヒューマンスキル)		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	選択
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。					
到達目標	・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	グループディスカッション				7
	2	グループディスカッションワーク				18
	3	ディベート				4
	4	コミュニケーション力強化				9
	5	社会人としての基礎知識(政治・経済など)				5
	6	リーダー育成				11
	7	プレゼン力強化				6
	8	グループディスカッション(最終)				15
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	無し					
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する					
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅠB(サーバ環境構築(実践))		担当者	山川　こゆき	科目必修区分	選択
授業概要	情報スペシャリスト科で学ぶ科目をサーバ構築および運用を通して体系的実践から習得する。社会で利用されているサーバ(さくらインターネットもしくはAWS EC2)にフロントエンドからバックエンドで活用されているサービスを導入し、サーバ構築の基礎を学ぶ。オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を体得。また、構築手順、エラー対応、バージョンなど詳細確認、レポート提出により問題解決スキルの成長を促し、相互レビューで自らの強み発見および改善を促す。					
到達目標	・LinuxOS Webサーバ構築手順書通り、構築できる ・Linuxサーバ(さくらインターネットVPSもしくはAWS EC2)を操作できる ・仮想マシンVirtualBoxのインストール、設定ができる ・LinuxOSのインストール、設定ができる ・WebサービスApacheのインストールができる ・データベースMySQLのインストール、設定ができる ・プログラミング言語PHPのインストール、設定ができる ・CMS WordPressのインストール、設定ができる ・Apache(Webサーバ)、MySQL(データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS) サービス間の連携、管理、運用ができる ・Webサーバ構築の基礎的なネットワーク、セキュリティの設定、変更ができる ・ChatGPTを活用したレポート作成、プレゼンテーションができる					
授業計画	内　　　　容					授業時間数
	講義					
	1	オリエンテーション・環境設定:自己紹介、授業の進め方、サーバ概要				5
	2	仮想マシンとは:仮想化環境概要、仮想マシンのインストール・作成・設定				5
	3	Linuxとは:OS概要、OSのインストール・作成・設定・ネットワーク接続・ログイン				5
	4	調査1:ディストリビューションの検証・比較・選定				5
	5	フロントエンド構築:構築手順実演、個人演習、手順書作成(指定OS編)				5
	6	フロントエンド構築:構築手順実演、個人演習、手順書作成(選定OS編)				5
	7	調査2:サーバ、ネットワーク、各種サービス、セキュリティ、関連情報				5
	8	バックエンド構築:構築手順実演、個人演習、本番環境設定				5
	9	ソーシャル・マーケティングとは:企業のCSRとマーケティングの概要				5
	10	本番環境構築1:企画、要件定義				5
	11	本番環境構築2:基本設計				5
	12	本番環境構築3:詳細設計・プログラミング				5
	13	本番環境構築4:結合テスト・システムテスト・運用テスト				5
	14	発表1:プレゼンテーション				5
	15	発表2:プレゼンテーション				5
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					75
教科書	オリジナル資料					
時間外学習	さくらインターネット・サイト「さくらのナレッジ:さくらのVPS講座」(参考資料) アマゾン・ウェブ・サービス EC2 ラボ					
成績評価方法	レポート 30pt、スピーチ 30pt、期末プレゼンテーション 20pt、成果物 20pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅠB(チャレンジコース)	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する				
到達目標	・各自で設定した目標を達成するための手段やスケジュールリングを行うことができる ・問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングができるようになる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	目標の設定および進捗方法の確認			74
	3	目標を進める			
	4	進捗率の確認			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度60pt、課題達成率40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義・演習	講義時期	通年
授業科目	セキュリティ入門 I (Security+)		担当者	福士とよみ・喜友名航	科目必修区分	必修
授業概要	CompTIA Security+認定資格のカリキュラムを通じ、情報セキュリティの脅威や攻撃、脆弱性の内容だけでなく、セキュリティアーキテクチャや設計・実装、運用やインシデントレスポンスまで学んでいく。授業は、Udemyの”CompTIA Security+ SY0-701 Full Training Guide”の内容を、教員による各セクションの概要説明や小テスト・練習問題で学修していく。					
到達目標	1. 「情報セキュリティ」の概念についての説明ができる。 2. ComTIA Securiry+ の試験に合格する。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	シラバス説明(授業目的・年間スケジュール・取得目標検定説明)				1
	2	パート 1 -基本的なセキュリティ概念				3
	3	パート 2 -脅威アクターと脅威ベクトル				4
	4	パート 3 -暗号ソリューション				5
	5	パート 4 -ID とアクセス管理の実装				5
	6	パート 5 -安全な企業ネットワークアーキテクチャ				5
	7	パート 6 -安全なクラウド ネットワーク アーキテクチャ				5
	8	パート 7 -回復力とサイトセキュリティの概念				5
	9	パート 8 -脆弱性管理について				6
	10	振り返り (パート1～8)				1
	11	中間試験 6月上旬				1
	12	パート 9 -ネットワークセキュリティ機能の評価				3
	13	パート 10 -エンドポイントのセキュリティ機能の評価				4
	14	パート 11 -アプリケーションのセキュリティ機能の強化				3
	15	パート 12 -インシデント対応とモニタリングの概念				5
	16	パート 13 -悪意のある活動の指標を分析する				5
	17	パート 14 -セキュリティ ガバナンスの概念				5
	18	パート 15 -リスク管理について				5
	19	パート 16 -データ保護とコンプライアンスの概念				5
	20	振り返り (パート9～16)				1
	21	期末試験 8月中旬				1
	22	セクション 18 演習テスト (90問/90分)				10
	23	本試験対策、試験受験 (10月)				26
	24	予備				2
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					116
教科書	なし (Udemyのスタディガイドと教員のオリジナル解説資料を利用する)					
時間外学習	授業時間内で終わらなかった小テスト問題や練習問題・中間試験、期末試験に向けた勉強 資格試験受験に向けた勉強					
成績評価方法	前期(授業態度20pt、課題提出20pt、中間試験 30pt、期末試験30pt) 後期(授業態度20pt、模擬試験20pt×2回分、本番試験40pt) 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	システム構築技術Ⅱ(LinuC102)		担当者	山川 こゆき	科目必修区分	必修
授業概要	システム構築において、オンプレミス環境だけでなく、クラウド環境やオープンテクノロジーのLinux技術者としてLinuxサーバ構築・運用・管理、クラウドの安全な運用、オープンソース文化の理解と業務への活用を目指し、実践的スキルを習得する。					
到達目標	・シェル環境のカスタマイズ、シェルスクリプトの活用ができる。 ・ネットワークの基本設定、構成、問題解決、クライアント側のDNS設定ができる。 ・アカウント管理、ジョブスケジューリング、国際化対応プログラム活用ができる。 ・システム時刻管理、システムログ管理、メール配送の基本設定ができる。 ・セキュリティ基本操作、ホストのセキュリティ設定、暗号化技術、クラウドセキュリティの基本設定ができる。 ・オープンソースウェアの概念とライセンスを説明できる。 ・LPI-Japan認定 LinuCレベル1-102試験を受験(取得)する。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション:LinuCレベル1-102の試験概要				2
	2	序章:環境再設定、LinuCレベル1-101の復習(振り返り)				4
	3	第6章:シェルとシェルスクリプト(講義と実践)				10
	4	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第6章				4
	5	第7章:ネットワークの基礎(講義と実践)				10
	6	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第7章				4
	7	第8章:システム管理(講義と実践)				10
	8	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第8章				4
	9	第9章:システムサービス(講義と実践)				8
	10	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第9章				4
	11	第10章:セキュリティ(講義と実践)				8
	12	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第10章				6
	13	第11章:オープンソース文化(講義と実践)				4
	14	Web演習問題「Ping-t」・問題演習「スピードマスター」実施と解説:第11章				2
	15	模擬試験:第1回～第3回 実施と解説				9
	16	本試験;実施				2
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					91
教科書	LinuCレベル1 バージョン10.0 合格教本[101試験、102試験対応]改訂新版(技術評論社) Linux教科書「図解でバツとわかる LPIC/LinuC」一部(翔泳社)					
時間外 学習	LinuCレベル1 スピードマスター問題集[101試験、102試験]Ver.10.0対応(翔泳社)					
	IT試験学習サイト「Ping-t」(Webサイト)					
	【任意】「LinuC レベル1101 + 102試験対策講座」(Udemy:オンデマンド)					
成績評価 方法	単元課題 40pt、授業態度 20pt、模擬試験20pt、本試験 20pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	ネットワーク入門Ⅱ(SRWE)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	中小企業のネットワークをサポートするスイッチング テクノロジーとルーターの操作ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN) とセキュリティの概念について学習する。				
到達目標	・デバイス(ルータ、スイッチ)の基本的な設定ができる。 ・スイッチのセキュリティ設定ができる。 ・LANとWANの違いが説明できる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	モジュール1:基本的なデバイスの設定			5
	2	モジュール2:スイッチングの概念			3
	3	モジュール3:VLAN			4
	4	モジュール4:VLAN間ルーティング			6
	5	モジュール5:STPの概念			5
	6	モジュール6:EtherChannel			6
	7	モジュール7:DHCPv4			6
	8	モジュール8:SLAACおよびDHCPv6			6
	9	モジュール9:FHRPの概念			5
	10	モジュール10:LANセキュリティの概念			5
	11	モジュール11:スイッチのセキュリティ設定			6
	12	モジュール12:WLANの概念			5
	13	モジュール13:WLANの設定			6
	14	モジュール14:ルーティングの概念			5
	15	モジュール15:IPスタティックルーティング			6
	16	モジュール16:スタティックルーティングとデフォルトルートのトラブルシューティング			6
	17	期末試験(筆記・実技)			6
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	Webテキスト(Cisco academy 提供)				
時間外学習	パケットトレーサ(実習環境)を使用したラボ実習				
成績評価方法	章末試験20pt、期末試験(筆記)30pt、期末試験(実技)50pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	ログ分析実習 I A(Splunk)	担当者	喜友名 航・中村 響	科目必修区分	必修
授業概要	Splunkによる様々なデータの取り込み、簡単なデータ検索とグラフによる可視化など基本操作を学習する。				
到達目標	・Splunkの環境構築ができる。 ・Splunkの基本操作(データ取り込み、検索、可視化)ができる。 ・Splunkに対して拡張機能を導入し利用することができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス、シラバス・コマ配分説明、Splunk紹介			5
	2	実習環境構築/User登録			5
	3	BASICハンズオン1 データ登録、サーチ基礎 (Splunk社 資料利用)			5
	4	BASICハンズオン2			3
	5	BASICハンズオン3			3
	6	SSHハンズオン/SPLの基本			5
	7	Search Tutorial 1 (Splunk社 資料利用)			4
	8	Search Tutorial 2 (Splunk社 資料利用)			4
	9	Search Tutorial 3 (Splunk社 資料利用)			4
	10	環境再構築(ライセンス更新/MBSD実習環境事前構築/e-Learnig)			5
	11	MBSD社授業前 環境事前構築/e-Learning			3
	12	MBSD社授業			10
	13	環境再構築/前期授業振り返り(BASICハンズオン)			2
	14	前期授業振り返り (SSHハンズオン)			2
	15	前期授業振り返り (Serch Tutorial ハンズオン)			2
	16	前期授業振り返り (MBSD授業ハンズオン)			2
	17	予備			2
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				66
	教科書	・e-Learning教材 ・自作教材			
時間外学習	Splunk Core Certified User受験に向けた学習 成果物作成に向けた学習				
成績評価方法	授業態度 20pt、課題提出(動画) 40pt、課題提出(e-Learning) 40pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	キャリアデザインⅡA		担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	社会人にとって基本的な素養を知り、基礎スキルの一部について学習・演習する					
到達目標	・就職活動に必要なことを学び、社会でも役立つことを理解する ・ワークを通し、就職活動に必要なスキルの基礎を習得できる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	1. 導入				1
	2	2. 良い習慣を身につける				1
	3	3. コミュニケーション力を高める				2
	4	4. 自己理解と履歴書の準備				6
	5	5. 他者理解				2
	6	6. 思いを言語化する				2
	7	7. スケジュール管理と情報の利活用				2
	8	8. 業界研究セミナー、就活準備セミナー				10
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	KBC学園 就職活動の進め方					
時間外学習						
成績評価方法	授業態度30pt 取り組み姿勢40p 提出物30pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義・演習	講義時期	前期	
授業科目	選択実習ⅡA(セキュリティ実習)		担当者	大城 全揮	科目必修区分	選択	
授業概要	プラットフォーム・Webアプリケーションの脆弱性を理解し、ツールを用いて対象の脆弱性を検出できる脆弱性診断士の育成を目的とする。						
到達目標	・プラットフォームの脆弱性とその対策方法を説明することが出来る ・Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することが出来る ・脆弱性診断ツールの基本操作を理解し、脆弱性を検出することが出来る						
授業計画	内 容					授業時間数	
	1	ガイダンス、脆弱性ガイドライン説明、各種セキュリティ資格紹介				5	
	2	HTTP/ネットワーク基礎				5	
	3	WEBアプリケーション脆弱性説明とXSS実習				5	
	4	SQLインジェクション実習				5	
	5	CSRF実習				5	
	6	その他脆弱性実習				5	
	7	脆弱性診断と結果報告				5	
	8	ここまでの振り返り（第3回から第6回までの実習のおさらい）				5	
	9	Web診断実習(BURP SUITE)				5	
	10	Web診断実習(OWASP ZAP)				5	
	11	診断報告書の作成と法令				5	
	12	課題提出と評価				5	
	13	プラットフォーム診断1				5	
	14	プラットフォーム診断2				5	
	15	課題提出と評価				5	
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		合計時間数					75
	教科書	Webセキュリティ担当者のための脆弱性診断スタートガイド 第2版 上野宣					
時間外学習	オンデマンド教材(Udemy)						
成績評価方法	授業態度 50pt、課題提出 50pt 学校基準により4段階評価とする						
担当詳細	教員		備考				
実務経験紹介							

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅡA(レゴロボ実習)	担当者	大城 政邦	科目必修区分	選択
授業概要	ScratchやC言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通し、プログラムの組み方、センサーを含むハードウェアのプログラミングを理解する。開発環境をLinuxとし、Linuxの操作にも慣れることとする。				
到達目標	・ScratchとC言語でプログラムを書けるようになる ・Linuxの基本的なファイル操作ができるようになる ・各種センサーの特徴を理解し、それらを活用したEV3(レゴロボ)を設計通りにプログラミングできるようになる ・チームでの作業を通じてチームワークを身につける				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	環境構築			5
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)			5
	3	C言語基礎(プログラム作成)			10
	4	EV3組立て、Scratch基礎			5
	5	EV3プログラミング(Scratch)			5
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用			10
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース			10
	8	C言語環境構築、EV3プログラミング(C言語)			5
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用、ライントレース			10
	10	EV3プログラミング(C言語)、追加課題			5
	11	部品の点検、振り返り			5
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料				
時間外学習	課題の作成と提出				
成績評価方法	授業態度40pt、課題提出60pt 学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義・演習	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅡA(Webシステム開発)		担当者	今頭 翔太	前期	選択
授業概要	・情報スペシャリスト科で学ぶ、HTML・CSS・PHP(WEB開発技術)を連携し、サイト構築の体験をしながら学習をしていく。 ・PHPのフレームワーク「Laravel」、CSSのフレームワーク「Bootstrap」を使いながら本格的なwebサイト作成にチャレンジする。 ・基礎勉強から作品製作までをチームにて行う。					
到達目標	・仮想環境のDockerを利用した開発できるようになる。 ・PHPやCSSのフレームワークを利用したwebサイトの作成ができるようになる。 ・開発したwebサイトをポートフォリオとして提出できるようになる。 ・チームでの開発ができるようになる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション・自己紹介・チーム決め・授業の進め方				3
	2	HTML・CSS基礎 ※Bootstrapも使用				5
	3	PHP,MySQL基礎 dockerを利用した開発				14
	4	PHPフレームワーク「Laravel」の基礎				13
	5	作品製作・ポートフォリオの作成				40
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				75
教科書	・オンデマンド動画教材「Udemy」 ・オリジナル資料					
時間外学習	・授業内では使用しない「Udemy」教材					
成績評価方法	出席率:15pt・授業態度:15pt、課題提出:30pt、作品提出:40pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義・実技	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅡA(ヒューマンスキル)		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	選択
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。					
到達目標	・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	グループディスカッション				7
	2	グループディスカッションワーク				18
	3	ディベート				4
	4	コミュニケーション力強化				9
	5	社会人としての基礎知識(政治・経済など)				5
	6	リーダー育成				11
	7	プレゼン力強化				6
	8	グループディスカッション(最終)				15
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	無し					
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する					
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義・演習	講義時期	前期	
授業科目	選択実習ⅡA(サーバ環境構築(実践))		担当者	山川 こゆき	科目必修区分	選択	
授業概要	情報スペシャリスト科で学ぶ科目をサーバ構築および運用を通して体系的実践から習得する。社会で利用されているサーバ(さくらインターネットもしくはAWS EC2)にフロントエンドからバックエンドで活用されているサービスを導入し、サーバ構築の基礎を学ぶ。オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を体得。また、構築手順、エラー対応、バージョンなど詳細確認、レポート提出により問題解決スキルの成長を促し、相互レビューで自らの強み発見および改善を促す。						
到達目標	・LinuxOS Webサーバ構築手順書通り、構築できる ・Linuxサーバ(さくらインターネットVPSもしくはAWS EC2)を操作できる ・仮想マシンVirtualBoxのインストール、設定ができる ・LinuxOSのインストール、設定ができる ・WebサービスApacheのインストールができる ・データベースMySQLのインストール、設定ができる ・プログラミング言語PHPのインストール、設定ができる ・CMS WordPressのインストール、設定ができる ・Apache(Webサーバ)、MySQL(データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS) サービス間の連携、管理、運用ができる ・Webサーバ構築の基礎的なネットワーク、セキュリティの設定、変更ができる ・ChatGPTを活用したレポート作成、プレゼンテーションができる						
授業計画	内 容					授業時間数	
	講義						
	1	オリエンテーション・環境設定: 自己紹介、授業の進め方、サーバ概要				5	
	2	仮想マシンとは: 仮想化環境概要、仮想マシンのインストール・作成・設定				5	
	3	Linuxとは: OS概要、OSのインストール・作成・設定・ネットワーク接続・ログイン				5	
	4	調査1: ディストリビューションの検証・比較・選定				5	
	5	フロントエンド構築: 構築手順実演、個人演習、手順書作成(指定OS編)				5	
	6	フロントエンド構築: 構築手順実演、個人演習、手順書作成(選定OS編)				5	
	7	調査2: サーバ、ネットワーク、各種サービス、セキュリティ、関連情報				5	
	8	バックエンド構築: 構築手順実演、個人演習、本番環境設定				5	
	9	ソーシャル・マーケティングとは: 企業のCSRとマーケティングの概要				5	
	10	本番環境構築1: 企画、要件定義				5	
	11	本番環境構築2: 基本設計				5	
	12	本番環境構築3: 詳細設計・プログラミング				5	
	13	本番環境構築4: 結合テスト・システムテスト・運用テスト				5	
	14	発表1: プレゼンテーション				5	
	15	発表2: プレゼンテーション				5	
	16						
	17						
	18						
	19						
	20						
	21						
	22						
	23						
	24						
	25						
	26						
	27						
	28						
	29						
	30						
		合計時間数					75
	教科書	オリジナル資料					
時間外学習	さくらインターネット・サイト「さくらのナレッジ: さくらのVPS講座」(参考資料) アマゾン・ウェブ・サービス EC2 ラボ						
成績評価方法	レポート 30pt、スピーチ 30pt、期末プレゼンテーション 20pt、成果物 20pt						
担当詳細	教員	備考					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	実習	講義時期	前期
授業科目	選択実習ⅡA(チャレンジコース)	担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する				
到達目標	・各自で設定した目標を達成するための手段やスケジュールリングを行うことができる ・問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングができるようになる				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション			1
	2	目標の設定および進捗方法の確認			74
	3	目標を進める			
	4	進捗率の確認			
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
	合計時間数				75
教科書					
時間外学習	各自目標を進める				
成績評価方法	授業態度60pt、課題達成率40pt				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	システム構築技術Ⅲ(サーバ構築運用)		担当者	山川 こゆき	科目必修区分	必修
授業概要	これまで学んできた科目の集大成とし「Webサーバ構築および運用」を通して体系的に学んでいく。実社会で利用されている基本的なLAMPサーバ環境を構築し、フロントエンドからバックエンドの各サービスの導入、実践的なサーバ構築・設定・動的Webサイト運用でインフラエンジニアの仕事内容およびプロセスを学ぶ。実際に社会で活用されているVPNサービスを利用し、サービスの知識・技術の活用方法と構築技術を習得する。					
到達目標	・LinuxOSのWebサーバが基本手順通り構築できる。 ・Linuxサーバ(さくらインターネット「VPS」もしくはAWS「EC2」)を操作できる。 ・オンプレミス環境(VirtualBox:LinuxOS、Webサービスを、データベースサービス、プログラミング言語PHP、CMS「WordPress」)のインストールおよび基本設定ができる。 ・クラウド環境(さくらインターネットもしくはAWS:LinuxOS、Webサービスを、データベースサービス、プログラミング言語PHP、CMS「WordPress」)のインストールおよび基本設定ができる。 ・サービス間(データベース、CMS「WordPress」他)との連携、設定、運用、管理ができる。 ・サーバ構築の基本的なネットワーク、セキュリティの設定、変更ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	講義					
	1	オリエンテーション・環境設定:授業の進め方、構築手順概要、環境設定				4
	2	ディストリビューションの比較検討・インストール・ダウンロード				4
	3	各種サービスのインストール・設定・検証				4
	4	サーバとは:サーバに関する調査(種類・特徴・機能・関連事項)				3
	5	サーバ要件定義:作成(調査・検討・決定)およびテスト検証				4
	6	環境の構築:フロントエンド・バックエンド				5
	7	環境の構築:動的Webサイトの制作				4
	8	成果物制作				8
	9	プレゼンテーション				4
	演習					
	1	VirtualBoxのインストールとネットワーク等設定:講義1				3
	2	ディストリビューション「AlmaLinux」のインストールと設定:講義2				3
	3	色々な環境のインストールと設定・検証:講義3〜4				3
	4	Webサービス、DB、関連のインストールと設定・ネットワークの設定:講義6〜7				5
						</

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	ネットワーク入門Ⅲ(ENSA)		担当者	大城 全揮	科目必修区分	必修
授業概要	IPアドレッシングやイーサネットの基礎を含む、インターネットや最新のコンピューター ネットワークを介してユーザー、デバイス、アプリケーション、データを接続するためのアーキテクチャ、モデル、プロトコル、ネットワークを学習します。					
到達目標	・ルーティングプロトコル(OSPF)の設定ができる。 ・ACLを使用してアクセス制御ができる。 ・ネットワークの仮想化、自動化の説明ができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	モジュール1:シングルエリアOSPFv4の概念				3
	2	モジュール2:シングルエリアOSPFv4の設定				3
	3	モジュール3:ネットワークセキュリティの概念				3
	4	モジュール4:ACLの概念				3
	5	モジュール5:IPv4 ACLの設定				3
	6	モジュール6:IPv4 NAT				3
	7	モジュール7:WANの概念				3
	8	モジュール8:VPNおよびIPsecの概念				3
	9	モジュール9:QoSの概念				3
	10	モジュール10:ネットワーク管理				3
	11	モジュール11:ネットワーク設計				3
	12	モジュール12:ネットワークのトラブルシューティング				3
	13	モジュール13:ネットワーク仮想化				3
	14	モジュール14:ネットワーク自動化				3
	15	期末試験(筆記・実技)				7
	16	試験対策				15
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	Webテキスト(Cisco academy 提供)					
時間外学習	パケットトレーサー(実習環境)を使用したラボ実習					
成績評価方法	章末試験20pt、期末試験(筆記)30pt、期末試験(実技)50pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	ログ分析実習 I B (Splunk)	担当者	喜友名 航・中村 響	科目必修区分	必修
授業概要	Splunkを活用し、データを解析・インシデント調査を行い対策方法を含めた発表をPBL形式で行う。				
到達目標	・Splunkを活用しデータの解析ができる。 ・インシデントの特定ができる。 ・インシデントに対して対策方法を提示することができる。				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	オリエンテーション(シラバス・コマ配分説明)			2
	2	PBL演習準備/調査トレーニング			4
	3	PBL演習/チーム分け			2
	4	PBL演習/構築開始			2
	5	PBL演習/発表資料作成			12
	6	PBL中間発表			2
	7	環境再構築 MBSD発表資料作成(PBL)			2
	8	MBSD発表資料作成(PBL)			23
	9	PBL演習発表/MBSD授業			10
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			
教科書	・e-Learning教材 ・自作教材				
時間外学習	成果物作成に向けた学習				
成績評価方法	中間発表 40pt、本番発表 40pt、資料提出 20pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	キャリアデザインⅡB		担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	社会の構造、企業の構造など、社会人にとって基本的な素養を学習し、就職活動の具体的な進め方について学習・演習する。					
到達目標	・自己分析や企業研究など自発的に取り組み、履歴書を完成させることができる。 ・基本的な就職活動の流れとポイントを押さえて動くことができる ・SPI、CAB、GAB試験の内容を理解し効率的に問題を解くことができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	1章:就職活動の基礎を整える				
	2	1-1:身だしなみを整える、履歴書の準備、採用試験(面接)の受け方				0.5
	3	1-2:KBC学園センスアップセミナー				0.5
	4	2章:就職活動の実践				
	5	2-1:KBC学園の就職斡旋規定				0.5
	6	2-2:就職活動のスケジュールリング				0.5
	7	2-3:KBC学園就職活動の流れ				0.5
	8	2-4:企業情報の収集方法				0.5
	9	2-5:企業訪問・会社説明会				0.5
	10	2-6:求人票の見方				0.5
	11	2-7:企業情報のまとめ方				0.5
	12	2-8:面接試験に備える(志望動機の作成)				0.5
	13	2-9:採用試験(事前準備と注意事項)				0.5
	14	2-10:添え状・詫び状				0.5
	15	2-11:内定を辞退する場合				0.5
	16	3章:社会人になる前に				
	17	3-1:新入社員として				0.5
	18	3-2:すぐに必要となるビジネスマナー				1
	19	センスアップセミナー(準備・実践)				20
	20	就活イベント				10
	21	会社説明会及び面接対策				16
	22	SPI、CAB、GABについて対策				
	23	外部機関による就職講義および演習等の実施				
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	KBC学園 就職活動の進め方					
時間外 学習	採用試験準備(履歴書作成、エントリーシート、面接練習)					
	採用試験受検(筆記、webテスト、面接)					
成績評価 方法	授業態度20pt、履歴書完成度20pt、取り組み姿勢40p、提出物20pt					
	学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	志学Ⅱ		担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	必修
授業概要	やりがいを持てる社会人生活を送る為に、社会との繋がりの中で自分自身の生きる姿勢を探求し、ロールモデルを探し自身の「志」を具体化させていく事を目指す。					
到達目標	志高い人々に学び、能動的に行動するために考える力、伝える力を磨き、自身の働き方、他者理解を含め、社会人としてのあり方を整理し自身の「志」(目標)を立てることができる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	志学Ⅱ 序章				2
	2	志学Ⅱ 第1章 志とは				2
	3	志学Ⅱ 第2章 感化力「志」高く生きた人に学ぶ				6
	4	志学Ⅱ 第3章 伝える力(思いを言葉に変える力)を磨く				2
	5	志学Ⅱ 第4章 考える力(思考力)を磨く				6
	6	志学Ⅱ 第5章 私の「志」				2
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	志学Ⅰ・Ⅱ (KBC学園オリジナルテキスト)					
時間外学習	「私のロールモデル」プレゼンテーション資料作成(100分)					
成績評価方法	授業態度30pt、授業レポート及び課題70pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科(4年制)3年次	授業方法	演習	講義時期	後期
授業科目	ビジネスマナーⅡ	担当者	藤吉 綾子	科目必修区分	必修
授業概要	・面接時の好感の持てる応答の仕方を演習を通して学習する				
到達目標	・面接時の基本的な立ち居振る舞いを身につける				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	自己PR文の作成のポイント			2
	2	【演習】グループ面接時の入退室・自己紹介			2
	3	【演習】グループ面接(入退室＋質疑応答)			16
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
	15				
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			20
教科書	実践ビジネスマナー(1,200円＋税 ウイネット)				
時間外学習	なし				
成績評価方法	出席率(25%)・授業態度(25%)・提出物(25%)・期末テスト(25%)				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上	授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅡB(セキュリティ実習)	担当者	大城 全揮	科目必修区分	選択
授業概要	プラットフォーム・Webアプリケーションの脆弱性を理解し、ツールを用いて対象の脆弱性を検出できる脆弱性診断士の育成を目的とする。				
到達目標	・プラットフォームの脆弱性とその対策方法を説明することが出来る ・Webアプリケーションの脆弱性とその対策方法を説明することが出来る ・脆弱性診断ツールの基本操作を理解し、脆弱性を検出することが出来る				
授業計画	内 容				授業時間数
	1	ガイダンス、脆弱性ガイドライン説明、各種セキュリティ資格紹介			5
	2	HTTP/ネットワーク基礎			5
	3	WEBアプリケーション脆弱性説明とXSS実習			5
	4	SQLインジェクション実習			5
	5	CSRF実習			5
	6	その他脆弱性実習			5
	7	脆弱性診断と結果報告			5
	8	ここまでの振り返り（第3回から第6回までの実習のおさらい）			5
	9	Web診断実習(BURP SUITE)			5
	10	Web診断実習(OWASP ZAP)			5
	11	診断報告書の作成と法令			5
	12	課題提出と評価			5
	13	プラットフォーム診断1			5
	14	プラットフォーム診断2			5
	15	課題提出と評価			5
	16				
	17				
	18				
	19				
	20				
	21				
	22				
	23				
	24				
	25				
	26				
	27				
	28				
	29				
	30				
		合計時間数			75
教科書	Webセキュリティ担当者のための脆弱性診断スタートガイド 第2版 上野宣				
時間外学習	オンデマンド教材(Udemy)				
成績評価方法	授業態度 50pt、課題提出 50pt				
	学校基準により4段階評価とする				
担当詳細	教員	備考			
実務経験紹介					

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義・実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅡB(レゴロボ実習)		担当者	大城 政邦	科目必修区分	必修
授業概要	ScratchやC言語でLEGO Mindstorm EV3(レゴロボ)をプログラミングする実習を通し、プログラムの組み方、センサーを含むハードウェアのプログラミングを理解する。開発環境をLinuxとし、Linuxの操作にも慣れることとする。					
到達目標	・ScratchとC言語でプログラムを書けるようになる ・Linuxの基本的なファイル操作ができるようになる ・各種センサーの特徴を理解し、それらを活用したEV3(レゴロボ)を設計通りにプログラミングできるようになる ・チームでの作業を通じてチームワークを身につける					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	環境構築				5
	2	C言語基礎(擬似言語との関連付け)				5
	3	C言語基礎(プログラム作成)				10
	4	EV3組立て、Scratch基礎				5
	5	EV3プログラミング(Scratch)				5
	6	EV3プログラミング(Scratch)、センサー活用				10
	7	EV3プログラミング(Scratch)、ライントレース				10
	8	C言語環境構築、EV3プログラミング(C言語)				5
	9	EV3プログラミング(C言語)、センサー活用、ライントレース				10
	10	EV3プログラミング(C言語)、追加課題				5
	11	部品の点検、振り返り				5
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書	EV3 Classroom プログラミングガイド ロボットで学ぶC言語 プログラミング基礎 独自資料					
時間外学習	課題の作成と提出					
成績評価方法	授業態度40pt、課題提出60pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅡB(Webシステム開発)		担当者	今頭 翔太	科目必修区分	選択
授業概要	・情報スペシャリスト科で学ぶ、HTML・CSS・PHP(WEB開発技術)を連携し、サイト構築の体験をしながら学習をしていく。 ・PHPのフレームワーク「Laravel」、CSSのフレームワーク「Bootstrap」を使いながら本格的なwebサイト作成にチャレンジする。 ・基礎勉強から作品製作までをチームにて行う。					
到達目標	・仮想環境のDockerを利用した開発できるようになる。 ・PHPやCSSのフレームワークを利用したwebサイトの作成ができるようになる。 ・開発したwebサイトをポートフォリオとして提出できるようになる。 ・チームでの開発ができるようになる。					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション・自己紹介・チーム決め・授業の進め方				3
	2	HTML・CSS基礎 ※Bootstrapも使用				5
	3	PHP,MySQL基礎 dockerを利用した開発				14
	4	PHPフレームワーク「Laravel」の基礎				13
	5	作品製作・ポートフォリオの作成				40
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
	合計時間数					75
教科書	・オンデマンド動画教材「Udemy」 ・オリジナル資料					
時間外学習	・授業内では使用しない「Udemy」教材					
成績評価方法	出席率:15pt・授業態度:15pt、課題提出:30pt、作品提出:40pt					
担当詳細	教員	備考				
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅡB(ヒューマンスキル)		担当者	長嶺 博紀	科目必修区分	選択
授業概要	ゲームやグループディスカッションを通し、社会人として必要なスキル(コミュニケーション能力、新アイデア創出)強化を図る。					
到達目標	・ルール内での創意工夫、斬新な発想を生み出すことができる ・グループで活動しコミュニケーション能力を最大限に発揮できる ・自身の持つアイデア、考えを他者へわかりやすく伝えることができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	グループディスカッション				7
	2	グループディスカッションワーク				18
	3	ディベート				4
	4	コミュニケーション力強化				9
	5	社会人としての基礎知識(政治・経済など)				5
	6	リーダー育成				11
	7	プレゼン力強化				6
	8	グループディスカッション(最終)				15
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				75
教科書	無し					
時間外学習	授業内の各種事例を深く掘り下げる。同様事例を独自に情報収集する					
成績評価方法	出席率15pt、授業態度15pt、科目終了後の授業レポート30pt、プレゼン評価40pt 学校基準により4段階評価とする					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	講義・演習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅡB(サーバ環境構築(実践))		担当者	山川 こゆき	科目必修区分	選択
授業概要	情報スペシャリスト科で学ぶ科目をサーバ構築および運用を通して体系的実践から習得する。社会で利用されているサーバ(さくらインターネットもしくはAWS EC2)にフロントエンドからバックエンドで活用されているサービスを導入し、サーバ構築の基礎を学ぶ。オープンソースとして実績の高いサービスの知識・技術の活用方法と構築技術を体得。また、構築手順、エラー対応、バージョンなど詳細確認、レポート提出により問題解決スキルの成長を促し、相互レビューで自らの強み発見および改善を促す。					
到達目標	・LinuxOS Webサーバ構築手順書通り、構築できる ・Linuxサーバ(さくらインターネットVPSもしくはAWS EC2)を操作できる ・仮想マシンVirtualBoxのインストール、設定ができる ・LinuxOSのインストール、設定ができる ・WebサービスApacheのインストールができる ・データベースMySQLのインストール、設定ができる ・プログラミング言語PHPのインストール、設定ができる ・CMS WordPressのインストール、設定ができる ・Apache(Webサーバ)、MySQL(データベースサーバ)、PHP(プログラミング言語)、WordPress(CMS)サービス間の連携、管理、運用ができる ・Webサーバ構築の基礎的なネットワーク、セキュリティの設定、変更ができる ・ChatGPTを活用したレポート作成、プレゼンテーションができる					
授業計画	内 容					授業時間数
	講義					
	1	オリエンテーション・環境設定: 自己紹介、授業の進め方、サーバ概要				5
	2	仮想マシンとは: 仮想化環境概要、仮想マシンのインストール・作成・設定				5
	3	Linuxとは: OS概要、OSのインストール・作成・設定・ネットワーク接続・ログイン				5
	4	調査1: ディストリビューションの検証・比較・選定				5
	5	フロントエンド構築: 構築手順実演、個人演習、手順書作成(指定OS編)				5
	6	フロントエンド構築: 構築手順実演、個人演習、手順書作成(選定OS編)				5
	7	調査2: サーバ、ネットワーク、各種サービス、セキュリティ、関連情報				5
	8	バックエンド構築: 構築手順実演、個人演習、本番環境設定				5
	9	ソーシャル・マーケティングとは: 企業のCSRとマーケティングの概要				5
	10	本番環境構築1: 企画、要件定義				5
	11	本番環境構築2: 基本設計				5
	12	本番環境構築3: 詳細設計・プログラミング				5
	13	本番環境構築4: 結合テスト・システムテスト・運用テスト				5
	14	発表1: プレゼンテーション				5
	15	発表2: プレゼンテーション				5
	合計時間数				75	
教科書	オリジナル資料					
時間外学習	さくらインターネット・サイト「さくらのナレッジ: さくらのVPS講座」(参考資料)					
	アマゾン・ウェブ・サービス EC2 ラボ					
成績評価方法	レポート 30pt、スピーチ 30pt、期末プレゼンテーション 20pt、成果物 20pt					
担当詳細	教員		備考			

シラバス

令和 7 年度

学校名: 国際電子ビジネス専門学校

学科・学年	情報スペシャリスト科2年次以上		授業方法	実習	講義時期	後期
授業科目	選択実習ⅡB(チャレンジコース)		担当者	赤羽 利夫	科目必修区分	選択
授業概要	学生個々で目標を設定し、独学(動画学習等含む)で目標を達成する					
到達目標	・各自で設定した目標を達成するための手段やスケジュールリングを行うことができる ・問題が起こった時の対処法、リスケジュールリングができるようになる					
授業計画	内 容					授業時間数
	1	オリエンテーション				1
	2	目標の設定および進捗方法の確認				74
	3	目標を進める				
	4	進捗率の確認				
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
	26					
	27					
	28					
	29					
	30					
		合計時間数				
教科書						
時間外学習	各自目標を進める					
成績評価方法	授業態度60pt、課題達成率40pt					
担当詳細	教員		備考			
実務経験紹介						